

山口県土木工事設計積算システムにおける週休2日補正の算出方法及び積算例【土木工事・機械設備工事・空港土木工事】

<時間外（深夜）割増補正に加えて、週休2日補正を行う場合>

労務単価へ複数の補正を行う場合は次式のとおり、「連続計算」を行う。

$$\begin{aligned} \text{労務単価} &= \text{労務単価 (基準額)} \times \text{(時間外(深夜)割増等)} \times \text{(割増対象賃金比)} \times \text{(週休2日実施率に応じた補正係数)} \\ \text{<週休2日補正>} & \\ \text{(=積算単価)} & \\ \text{※補正後の労務単価は、円未満切捨て} & \end{aligned}$$

時間外(深夜)割増補正(端数処理なし)
週休2日補正(端数処理なし)

積算例
[条件] 運転手(19,600円)、時間外割増係数:1.50、週休2日補正率:1.05(4週8休以上)

$$= 19,600 \times \underset{\text{※時間外(深夜)割増}}{1.50} \times \underset{\text{※週休2日補正}}{1.05} = 30,870\text{円 (円未満切捨て)}$$

<夜間割増補正に加えて、週休2日補正を行う場合>

機械経費へ複数の補正を行う場合は次式のとおり、「連続計算」を行う。

$$\begin{aligned} \text{機械経費(賃料)} &= \text{機械経費(賃料) (基準額)} \times \text{(夜間割増)} \times \text{(週休2日実施率に応じた補正係数)} \\ \text{<週休2日補正>} & \\ \text{(=積算単価)} & \\ \text{※補正後の労務単価は、円未満切捨て} & \end{aligned}$$

夜間割増補正(端数処理なし)
週休2日補正(端数処理なし)

積算例
[条件] <賃>ラフテレーンクレーン(44,000円)、夜間割増補正:1.30、機械経費割増係数:1.04(4週8休以上)

$$= 44,000 \times \underset{\text{※夜間割増補正}}{1.30} \times \underset{\text{※週休2日補正}}{1.04} = 59,488\text{円 (円未満切捨て)}$$

※長期補正については、公共工事設計労務・資材単価表の単価を基準額として取扱う。

<施工規模等の補正に加えて、週休2日補正を行う場合>

市場単価・土木工事標準単価へ複数の補正を行う場合は次式のとおり、「個別計算」を行う。

$$\begin{aligned} \text{市場単価等} &= \left[\text{市場単価 (基準額)} \times \text{(週休2日実施率に応じた補正係数)} \right] \times \text{(施工規模等の補正係数)} \\ \text{<週休2日補正>} & \\ \text{※市場単価等の補正は、週休2日・施工規模等の} & \\ \text{順に補正毎に円未満切捨てで端数処理を行う。} & \end{aligned}$$

週休2日補正(円未満切捨て)
施工規模等の補正(円未満切捨て)

積算例
[条件] 鉄筋工(54,000円)、週休2日補正率:1.05(4週8休以上)、施工規模等補正率:1.15718

$$\begin{aligned} \text{(週休2日補正)} &= 54,000 \times \underset{\text{※週休2日補正}}{1.05} = 56,700\text{円 (円未満切捨て)} \\ \text{(施工規模等補正)} &= 56,700 \times \underset{\text{※施工規模等の補正}}{1.15718} = 65,612.1 \approx 65,612\text{円 (円未満切捨て)} \end{aligned}$$

<共通仮設費率・現場管理費率に通常の補正に加えて、週休2日補正を行う場合>
 共通仮設費率・現場管理費率へ複数の補正を行う場合は次式のとおり、「個別計算」を行う。

$$\text{共通仮設費率 (\%)} \text{ <週休2日補正>} = \left(\left(\left(\text{共通仮設費率} \times \text{ICT補正} \right) \times \text{施工地域を考慮した補正係数等} \right) \times \text{週休2日実施率に応じた補正係数} \right) \text{ 「工種区分・対象額による」}$$

※端数処理は上記算定式の()の各々において、小数点以下第3位四捨五入して2位止め

$$\text{現場管理費率 (\%)} \text{ <週休2日補正>} = \left(\left(\left(\text{現場管理費率} \times \text{ICT補正} \right) \times \text{施工地域を考慮した補正係数等} \right) + \text{施工時期、工事期間等を考慮した係数} \right) \times \text{週休2日実施率に応じた補正係数} \text{ 「工種区分・対象額による」}$$

※端数処理は上記算定式の()の各々において、小数点以下第3位四捨五入して2位止め

積算例)

[条件]

直接工事費	2,526,000
主たる工種	道路改良工事
施工地域補正	一般交通影響有り(1)
ICT補正区分	補正あり
緊急工事補正	行う
休日指定区分	4週8休以上 ※旧係数で作成しています。

$$\text{共通仮設費率 (率分)} = \left(\left(\left(\text{共通仮設費率} \times \text{ICT補正} \right) \times \text{補正係数【施工地域】} \right) \times \text{週休2日補正} \right)$$

$$\left(\text{共通仮設費率} \times \text{ICT補正} \right)$$

$$12.78 \times 1.2 = 15.336 \rightarrow 15.34 \text{ (小数点以下第3位を四捨五入して2位止め)}$$

$$\left(\left(\text{共通仮設費率} \times \text{ICT補正} \right) \times \text{補正係数【地域補正】} \right)$$

$$15.34 \times 1.30 = 19.942 \rightarrow 19.94 \text{ (小数点以下第3位を四捨五入して2位止め)}$$

$$\left(\left(\left(\text{共通仮設費率} \times \text{ICT補正} \right) \times \text{補正係数【地域補正】} \right) \times \text{週休2日補正} \right)$$

$$19.94 \times 1.04 = 20.7376 \rightarrow 20.74 \text{ (\%)} \text{ (小数点以下第3位を四捨五入して2位止め)}$$

$$\text{現場管理費率 (率分)} = \left(\left(\left(\text{現場管理費率} \times \text{ICT補正} \right) \times \text{補正係数【施工地域】} \right) + \text{補正值【施工時期、工事期間等】} \right) \times \text{週休2日補正}$$

$$\left(\text{現場管理費率} \times \text{ICT補正} \right)$$

$$33.69 \times 1.1 = 37.059 \rightarrow 37.06 \text{ (小数点以下第3位を四捨五入して2位止め)}$$

$$\left(\left(\text{現場管理費率} \times \text{ICT補正} \right) \times \text{補正係数【施工地域】} \right)$$

$$37.06 \times 1.10 = 40.766 \rightarrow 40.77 \text{ (小数点以下第3位を四捨五入して2位止め)}$$

$$\left(\left(\text{現場管理費率} \times \text{ICT補正} \right) \times \text{補正係数【施工地域】} \right) + \text{補正值【施工時期、工事期間等】}$$

$$40.77 + 2.00 = 42.77 \rightarrow 42.77 \text{ (小数点以下第3位を四捨五入して2位止め)}$$

$$\left(\left(\left(\text{現場管理費率} \times \text{ICT補正} \right) \times \text{補正係数【施工地域】} \right) + \text{補正值【施工時期、工事期間等】} \right) \times \text{週休2日補正}$$

$$42.77 \times 1.06 = 45.3362 \rightarrow 45.34 \text{ (\%)} \text{ (小数点以下第3位を四捨五入して2位止め)}$$

積算例)

共通仮設費率分)	計算情報……523892=2526000*0.2074	率分)	計算情報……1382416=3049000*0.4534	率分)	計算情報……523,000
対象額……2,526,000	率……0.1278	率補正率……1.3000	対象額……3,049,000	率……0.3369	率補正率……1.1000
					1,382,000

山口県土木工事設計積算システムにおける週休2日補正の算出方法【港湾工事】

<時間的制約補正に加えて、週休2日補正を行う場合>

労務単価へ複数の補正を行う場合は次式のとおり、「連続計算」を行う。

$$\begin{aligned}
 &\text{労務単価} <\text{週休2日補正}> = \text{労務単価 (基準額)} \times \left[\text{時間外 (深夜) 割増等} \times \text{割増対象賃金比} \right] \times \left[\text{(週休2日実施率に応じた補正係数)} \right] \\
 & (= \text{積算単価}) \\
 & \text{※補正後の労務単価は、} \\
 & \text{小数第1位四捨五入}
 \end{aligned}$$

時間外 (深夜) 割増補正 (端数処理なし)
週休2日補正 (端数処理なし)

積算例)
[条件] 運転手 (19,600円)、時間外割増係数: 1.50、週休2日補正率: 1.05 (4週8休以上)

$$= 19,600 \times 1.50 \times 1.05 = 30,870 \quad (\text{小数第1位四捨五入})$$

※時間外 (深夜) 割増 ※週休2日補正

<施工規模等の補正に加えて、週休2日補正を行う場合>

市場単価へ複数の補正を行う場合は次式のとおり、「個別計算」を行う。

$$\begin{aligned}
 &\text{市場単価} <\text{週休2日補正}> = \left[\text{市場単価 (基準額)} \times \left[\text{(週休2日実施率に応じた補正係数)} \right] \right] \times \left[\text{(施工規模等の補正係数)} \right] \\
 & \text{※市場単価の補正は、週休2日・施工規模等の順} \\
 & \text{に補正毎に円未満切捨てで端数処理を行う。}
 \end{aligned}$$

週休2日補正 (円未満切捨て)
施工規模の補正 (円未満切捨て)

積算例)
[条件] Co打設工 方塊各ブロック製作[手間]: 2,700円、週休2日補正率: 1.05 (4週8休以上)、施工規模補正率: 1.10

$$\begin{aligned}
 (\text{週休2日補正}) &= 2,700 \times 1.05 = 2,835 \text{円} \quad (\text{円未満切捨て}) \\
 &\quad \text{※週休2日補正} \\
 (\text{施工規模等補正}) &= 2,835 \times 1.10 = 3,118.5 \approx 3,118 \text{円} \quad (\text{円未満切捨て}) \\
 &\quad \text{※施工規模等の補正}
 \end{aligned}$$

※ その他、機械経費 (賃料)、共通仮設費率、現場管理費率の週休2日補正方法については、土木工事と同様に取り扱う。

積算例①) 【土木工事・機械設備工事・空港土木工事】の労務単価・機械経費の週休2日補正

路体(築堤)盛土 SPK20040004 施工代価表 単第0-0002 表 頁0-0007
 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し 1 m3 当り
 機械構成比: 20.27% 労務構成比: 65.95% 材料構成比: 13.78% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 197.9600

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	12.45%	7,368	<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	6,010	KIPC00036 KIPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.82%	12,844	振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t	11,200	KIPC00058 KIPT00058
運転手(特殊)	44.64%	30,082	運転手(特殊)	23,800	RIPC00006 RIPT00006
普通作業員	21.31%	26,460	普通作業員	21,100	RIPC00002 RIPT00002
軽油 1,2号 バトロール給油	13.78%	119	軽油1.2号バトロール給油	117	TIPC00013 TIPT00013
積算単価		240.4	積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量10,000m3未満		
【補正式】 $240.4 = 197.96 \times \{ (12.45/100 \times 7,368/6,010 + 7.82/100 \times 12,844/11,200) \times 20.27 / (12.45 + 7.82) + (44.64/100 \times 30,082/23,800 + 21.31/100 \times 26,460/21,100) + 65.95 / (44.64 + 21.31) + (13.78/100 \times 119/117) \times 13.78 / (13.78) + (100 - 20.27 - 65.95 - 13.78) / 100 \}$					

山口県

[条件] <賃>ブルドーザ: 7,085円、運転手(特殊): 19,100円、
 時間外割増係数: 1.50、週休2日補正率: 1.05(4週8休以上)、機械経費割増係数: 1.04(4週8休以上)

$$\begin{aligned}
 \text{<賃>ブルドーザ} &= 7,085 \times 1.04 = 7,368.4 \approx 7,368 \text{円 (円未満切捨て)} \\
 &\quad \times \text{週休2日補正}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{運転手(特殊)} &= 19,100 \times 1.50 \times 1.05 = 30,082.5 \approx 30,082 \text{円 (円未満切捨て)} \\
 &\quad \times \text{時間外割増} \quad \times \text{週休2日補正}
 \end{aligned}$$

積算例②) 【土木工事・機械設備工事・空港土木工事】の市場単価等の週休2日補正

施工代価表

頁0-0009

鉄筋工
SD345_D13

SS000099
一般構造物 [規]10t未満

単第0-0002 表

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 [手間] 一般構造物	1.000	t	65,612	65,612	TSPC00001 週休2日補正後(4週8休)
異形棒鋼<JISG3112> SD345, D13 単位質量0.995kg/m	1.000	t	88,580	88,580	TIPC00001
諸雑費	1	式		8	#91
*** 単位当たり ***	1	t		154,200	
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満 I=2 法面作業			B=5 SD345_D13 E=1 - H=2 夜間作業 J=4 太径鉄筋_40%以上		
設計単価 = $56,700 \times (1+15/100) \times (1.00 \times 1.25 \times 1.00 \times 1.15 \times 0.70) \times 1.00$ = 65,612(円) 小数点第1位切り捨て整数止め					
材料費 = $1 \times 1.03 \times 86,000$ = 88,580(円) 小数点第1位切り捨て整数止め					

山口県

[条件] 鉄筋工[手間]: 54,000円
週休2日補正率: 1.05 (4週8休以上)

【週休2日補正】

鉄筋工 = 54,000 × 1.05 = 56,700 ≒ 56,700円 (円未満切捨て)
※週休2日補正

【施工規模等補正】

設計単価 = 56,700 × $(1+15/100) \times (1.00 \times 1.25 \times 1.00 \times 1.15 \times 0.70) \times 1.00$ = 6512.53 ≒ 65,612円 (円未満切捨て)
※施工規模等補正

積算例③) 【港湾工事】の労務単価・機械経費の週休2日補正

施工代価表

頁0-0007

路体(築堤)盛土

SPK20040004

単第0-0002 表

施工幅員4.0m以上

施工数量10,000m³未満 [障害無し]

1

m³ 当り

機械構成比: 20.27% 労務構成比: 65.95%

材料構成比: 13.78% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 197.9600

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	12.45%	7,368	<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	6,010	KIPC00036 KIPI00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.82%	12,350	振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t	11,200	KIPC00058 KIPI00058
運転手(特殊)	44.64%	30,083	運転手(特殊)	23,800	RIPC00006 RIPI00006
普通作業員	21.31%	26,460	普通作業員	21,100	RIPC00002 RIPI00002
軽油 1,2号 バトロール給油	13.78%	119	軽油1,2号バトロール給油	117	IIPC00013 IIPI00013
積算単価		239.7	積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量10,000m ³ 未満		
【補正式】 $239.7=197.96*\{(12.45/100*7,368/6,010+7.82/100*12,350/11,200)*20.27/(12.45+7.82)+(44.64/100*30,083/23,800+21.31/100*26,460/21,100)*65.95/(44.64+21.31)+(13.78/100*119/117)*13.78/(13.78)+(100-20.27-65.95-13.78)/100\}$					

山口県

[条件] <賃>ブルドーザ: 7,085円、運転手(特殊): 19,100円、
時間外割増係数: 1.50、週休2日補正率: 1.05(4週8休以上)、機械経費割増係数: 1.04(4週8休以上)

$$\text{<賃>ブルドーザ} = 7,085 \times \frac{1.04}{\text{※週休2日補正}} = 7,368.4 \approx 7,368 \text{円 (円未満切捨て)}$$

$$\text{運転手(特殊)} = 19,100 \times 1.50 \times \frac{1.05}{\text{※時間外割増 ※週休2日補正}} = 30,082.5 \approx 38,083 \text{円 (少数第1位四捨五入)}$$

